

Contents

- P.1～ 新体制紹介
P.1-2 新代表挨拶 浅田 安廣
P.3 新副代表挨拶 鈴木 裕識、池田 直生、籠田 大介
P.4 各委員の仕事紹介 平野(総務)、村田(企画)、栗田(広報)
P.5～ 国際シンポジウム開催報告
P.5 最優秀賞受賞者コメント 西野 友博さん(明治学園中学高等学校)
P.6 最優秀賞受賞者コメント 橋本 椎菜さん(宮城県仙台二華高等学校)
P.7～ 今後のイベント
P.7 5/26(土) Japan-YWPワークショップ「水×SDGsー変革の道しるべを探すー」
P.8 9/17(月) Japan-YWPワークショップ「Post SDGs Future Vision Call」 Japan-
P.9 YWP入会方法とお問い合わせ

● 2018年4月より第5期新体制が発足しました！

2018-2019年度Japan National Young Water Professionals (Japan-YWP) 運営委員は、浅田代表のもとで活動を行います。今回のニュースレターでは、新体制となった運営委員について、紹介します。また、2018年はIWA世界会議が東京で開催される非常に重要な年となります。Japan-YWPでは、IWA世界会議に先駆け、国際シンポジウム「Japan-YWP Water-wise Innovation Challenge! ~Mission for Phnom Penh Cambodia~」を昨年度1月に京都大学で開催いたしました。今回はイベントに関する報告を行うとともに、参加した高校生の体験談、感想をお伝えします。

■ 新体制紹介

新代表挨拶



浅田 安廣 (国立保健医療科学院)

第5期(2018-2019)のJapan-YWP代表の浅田です。2010年3月5日に設立したJapan-YWPですが、間もなく設立10年となります。この大きな節目に向けた期間に代表になるということで、今まで運営に携わってきた諸先輩方の築き上げてきたこの組織をさらに磨き上げられるよう、新たな運営委員とともに精一杯取り組んでいきます。

→2ページ目に続く

新代表挨拶（続き）

Japan-YWPの設立理念として「日本の水に関わる若手を結ぶプラットフォーム」があります。第4期(2016-2017)では共同代表(山村先生、小野寺先生)を中心に多くのイベントが開催され、Japan-YWPを周知させる機会を増やすことで、Japan-YWPとしての役割の充実化を図ってきました。また、Japan-YWP国際シンポジウムを成功させ、国内外にJapan-YWPの取り組みと魅力を伝える機会を築き上げてきました。

第5期では築き上げてきたものを維持するだけでなく、さらに積極的に拡大していく必要があると考えています。その中で、私自身としては以下の目標が達成できるように取り組もうと思っています。

- ・ 国際交流プラットフォームの構築・拡大
- ・ Japan-YWPのアピールへ向けたアウトプットの充実化
- ・ 自分たちより若い世代に水に興味を持ってもらう取り組みの実施

国際交流プラットフォームの構築・拡大を進める中で大きなイベントが、2018年9月に東京ビックサイトで開催されるIWA世界会議です。このイベントを大きなきっかけとし、世界各国(特にアジアパシフィック)のYWPとの国際交流拡大を目指すことを考えています。

アウトプットの充実化では、Japan-YWPの活動とその成果を、外部に公表し、その活動を伝えていくこと、またその場を増やしていくことを考えています。このような機会を増やすことで、会員同士で交流だけでなく新しい創造を築き上げる場としてJapan-YWPが存在する、そのような位置付けとしての組織にしたいと考えています。

また、自分たちより若い世代(スーパーヤング:高校生・大学生)に水に興味を持ってもらうことは、将来の人材確保・発掘に必要不可欠です。アドバイザーの方々にご相談しつつ、スーパーヤングに向けたイベントが開催できるように取り組むとともに、その一連の仕組みが構築できればと思っております。

最後になりますが、目標達成とJapan-YWPのさらなる充実に向け、運営委員、会員の皆様とともに頑張っていきたいと思っております。2年間という短い期間ではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。

新副代表挨拶

鈴木 裕識（土木研究所）

2018年4月よりJapan-YWP副代表として就任いたしました鈴木です。今期から副代表が3人となり、運営体制が一新されました。「三人寄れば文殊の知恵」といいますが、副代表だけではなく、運営委員メンバー全員で力を合わせて代表を支え、Japan-YWPを盛り立ててまいります。これまでJapan-YWPで受け継がれてきた「日本の水に関わる若手を結ぶプラットフォーム」が、皆さんにとって、気軽に、かつ、積極的に活用できる場となれば幸いです。さあ、とりあえず次のイベントに参加してみませんか？



池田 直生（JFEエンジニアリング）

第5期の副代表を務めさせていただきますJFEエンジニアリングの池田です。私が始めてJapan-YWPのイベントに参加したのは2年前の第3期の総会でした。第4期では広報委員の一員として活動してきました。活動当初はわからないことばかりで不安が大きかったことを覚えています。一方、Japan-YWPの会議・活動は普段の業務と異なり、産官学の垣根を越えた意見が飛び交い、非常に刺激を受けることばかりでした。

私自身、活動を通して皆さまから多くを学ぶことの方が多いと思いますが、副代表として少しでも多くの方にJapan-YWPを知っていただき、その刺激を感じていただけるように尽力したい次第です。よろしくお願いいたします。

籠田 大介（埼玉県企業局）

埼玉県企業局の籠田と申します。2016年からJapan-YWPの広報を担当しておりましたが、今期より副代表を務めさせていただくことになりました。私自身は未熟な点多々ありますが、頼もしい運営委員の仲間達と協力しながらやっていければと思います。

私は埼玉県庁で水道事業や水環境行政といった仕事に携わってきましたが、「水」に関わる仕事の多様性には、いつも驚かされてきました。私のような立場の若手にこそ、Japan-YWPで「水」を共通項とする幅広いプロフェッショナル達と関わり、刺激を受けてほしいと思っています。会員の皆様にとって魅力的なイベントの企画や、情報の発信をしていきますので、2年間という短い間ですがどうぞよろしくお願いいたします。



各委員紹介

総務委員 平野 実晴（神戸大学）



今期代表の浅田先生から引き継ぐ形で、総務を仰せつかりました。会員皆様の登録とメンバーの管理をいたします。私は研究者として水に関する制度に広く関心を持っており、皆様が抱く制度に関する思いを知ることがとても勉強になります。近年注目される持続可能な開発目標（SDGs）について、Japan-YWP会員として取り組みたいと考えています。今年はIWAの世界会議が東京であります。世界にアピールできるよう、Japan-YWPを盛り上げていきましょう！

企画委員 村田 道拓（株式会社日水コン）

Japan-YWPでは他団体との共催を含めて年間10回を超えるセミナーやワークショップ等を開催しており、企画委員はこうしたイベントの企画・調整を担当しています。イベントでは最先端の技術や幅広い分野の知見を獲得するとともに、異なる分野・職種との交流を深めることができます。さらに、2018年度は若手の視点を発信することも重視してイベントを企画して参りますので、熱い思いをもった若手の方々の積極的なご参加をお待ちしております！



広報委員 栗田 宗大（電力中央研究所）

広報委員ではJapan-YWPの活動やイベントの情報発信を行っています。ニュースレターやホームページに加えて、Facebookでも随時情報を発信していきますので、ぜひ、フォローをお願いいたします！ また、9月にはIWA世界会議が東京で開催されますので、国内だけでなく国外に向けた英語での情報発信にも今後は取り組む予定です。若手同士の交流の場として、多くの方にJapan-YWPの活動に参加いただけるよう、精力的に広報活動を行っていきます！！



■ 国際シンポジウム開催報告

IWA世界会議(東京)を控える2018年、Japan-YWPの最初のイベントとして国際シンポジウム「Japan-YWP Water-wise Innovation Challenge! ~Mission for Phnom Penh Cambodia~」を1月28日、京都大学百周年時計台記念館で開催いたしました。本イベントには産官学を問わず国内、国外から約80人の方にご参加いただき、国や分野を超えた議論が交わされました。

第1部の特別講演では、沖教授(東京大学)、滝沢教授(東京大学)、Vong Pisith総副局長(カンボジア王国公共事業運輸省)、川寄氏(北九州市上下水道局)の4名よりご講演をいただきました。いずれの講演も非常にタイムリーな内容であり、現代、そして将来、日本そして世界の水について考えさせられる機会となりました。

第2部ポスター発表セッションでは、10名、第3部口頭発表セッションでは、6チームがそれぞれ自分たちのアイデアについて発表を行いました。どの発表も興味を引くものばかりであり、聴講者とやり取りで新たなアイデアに繋がる様子が非常に印象的でした。すべての参加者に対して刺激あるセッションになったと振り返ります。

国際シンポジウムの詳細については、2018年3月18日に第15号ニュースレター(国際シンポジウム特集号)を発行しており、Japan-YWPのホームページよりご覧いただくことができます。ぜひ、ご覧ください。また、今回のニュースレターでは、第3部口頭発表セッションにて、最優秀賞を受賞しました高校生2チームの発表までの体験談、また当日の感想をいただくことができました。

(写真ご提供) 下水道新聞 高島様



最優秀賞受賞者コメント①

西野 友博さん (明治学園中学高等学校)

私たちはカンボジアの水事情について研究してきましたが、このような国際シンポジウムに参加するのは初めてでした。私たちが今まで研究したことを多くの人々に伝えられたことはもちろん、水問題の解決策として提起されたさまざまなアイデアに触れることができたのは、とても貴重な経験になりました。特に、私たちが発表した内容に対する疑問や反論の声をいただき、研究がさらに深まったことにはとても感謝しています。また、ちょうど同学年の生徒である仙台二華高校の生徒による発表にはかなり刺激を受けました。自分と同じ年齢の人が、こんなにも進んだ研究をしているということは、自らの研究の励みにもなりました。

→6ページ目に続く





シンポジウムで中央大学の山村先生がおっしゃったように、水環境の未来は私たち若い世代にかかっています。このシンポジウムで学んだことをこれからの人生に活かして、世界の水環境の改善のために少しでも力になればな、と思っています。

カンボジアの水環境改善について、多くの方々のご支援やご助言をいただき一つの提言をまとめることができました。特にこのような機会を頂けたことで、より磨きがかかったと思います。ありがとうございました。



指導教員
木村 先生

最優秀賞受賞者コメント②

橋本 椎奈さん（宮城県仙台二華高等学校 3年）

屋根に降った雨水を地下浸透と貯留の二つの用途に分ける仕組みとして、分岐部での塩ビ管の差し込みかたに苦労しました。実験でこの接合部が正常に機能し、初期雨水を想定した弱い水がパイプの内側を通過して、タンクに屋根汚れが入ることを防止できたとき、アイデアを初めて形にすることができた喜びを感じました。今回の研究では上水道普及率の高いプノンペン市で人々がこのシステムを購入したいと思えるかが課題でした。しかし分岐部を調節可能にし、各家庭の人数や要望にあわせて地下浸透と貯留の割合を変えられる仕組みにすることで、製作に努力を要した接合部をシステムの魅力の一つにすることができました。

国際シンポジウムでのポスターセッションを通して、水の専門家の方々に、都市部より周辺のスラムに導入してはどうかという意見や実際に雨水利用を進めている地域をアドバイスしていただき、この課題の解決の糸口を見つけることができました。



指導教員
地主 先生

今回は、多くの専門家・関係者の前で日頃の活動の成果を発表する貴重な機会をいただきまして誠にありがとうございました。本校では学校をあげて、主に東南アジアの具体的な水問題について、問題の構造とその解決法を探る活動を現地に訪問しながら行っております。多くの方々のご理解と応援があつての活動となっておりますので、今後ともご指導、ご支援をお願いいたします。

■今後のイベント

- 2018年5月26日 Japan-YWP ワークショップ
「水×SDGs –変革の道しるべを探す–」
- 2018年6月27日 Japan-YWP イブニングセミナー
- 2018年7月14~15日 Japan-YWP国際シンポジウム(WET2018)
- 2018年7月 JWRC水道講座
- 2018年9月17日 Post SDGs workshop (IWA2018)
- ※最新のイベント情報はWebサイト、Facebookで更新しております。

Japan-YWPワークショップ案内 「水×SDGs –変革の道しるべを探す–」



持続可能な開発目標(SDGs)とは何か? 水に関わる我々にとって持つ意味とは?
変革が求められる今、SDGsを紐解くことで水セクターの今後を考えます。

SDGsは国連が主導している国際的な取り組みで、水に関する目標も定められています。日本国内でも政府・自治体・企業・市民社会・研究者など、様々な立場の人にとって関係があり、それぞれの活動に役立ちうるものです。しかしながら、SDGsがどういったもので、水に関わる私たちにとってどういった意味を持つのでしょうか? こうした基本的なところから、「SDGsをどう使うか?」という少し踏み込んだ部分まで、参加された皆様と一緒に考えて、SDGsに関する理解を深めることを目的としたワークショップです。

- 日時:2018年5月26日(土)
13:30~17:00(ワークショップ後、意見交換会あり)
- 会場:東京大学 本郷キャンパス 工学部14号館 142号室
- プログラム:
 - (1)SDGsの枠組みやと水に関連する要素の解説
 - (2)ワークショップ「SDGsをどう役立てうるか?」
- 参加費/人数:無料/30人
- 参加登録:参加登録はこちらから <https://goo.gl/forms/HorwESQ4ON5A2PUH2>
- 問い合わせ:miharu.hirano@port.kobe-u.ac.jp 平野 実晴(神戸大学)

Japan-YWPワークショップ案内 「Post SDGs Future Vision Call」

IWA World Water Congress & Exhibition

16-21 SEPTEMBER 2018 TOKYO, JAPAN



GO FOR 2018!!

IWA WORLD WATER CONGRESS & EXHIBITION
16-21 September 2018 @Tokyo Big Sight

IWA Japan National Committee

IWA日本国内委員会

The representative body of IWA members in Japan

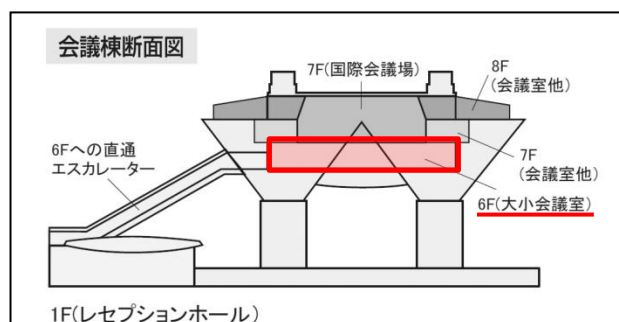
IWA 日本国内委員会HPより
(<http://www.iwa-jnc.jp/custom4.html>)

SDGsの中期目標を発表した後に、革新的なシステムを見出す時間が非常に限られています。つまり、SDGs達成後(Post SDGs)の次の目標に向かってできるだけ早くアイデアを準備する必要があります。

そこで本ワークショップでは、SDGs達成後の目標について協議し、SDGs目標達成のために開発すべき技術・社会システムについて議論する予定です。これは長期スケールの視野を持つのに役立ち、基礎研究や社会活動に関して明確な方向性を与えることができると期待しています。

Japan-YWPでは、SDGsについて学ぶため、「水×SDGs」ワークショップなどSDGsに関わるワークショップを開催します。一緒に学び、新しい未来を創造する礎を築いていきましょう。

- 日時: 2018年9月17日 (月)
10:30~12:00
- 会場: 東京ビックサイト
Room 02



■ Japan-YWP入会方法と問い合わせ先

Japan-YWPは、随時会員募集中です。会員用件は、大学・研究機関、官公庁、下水道・下水道事業体、民間企業などに所属する水関係の若手・学生(原則35歳以下)とし、専門内容やIWA会員であることの有無は問いません。また、年会費等は不要です。入会手続きはメールまたはWebサイトから行えます。

■ メールから

入会希望の方は

- ①所属
- ②氏名
- ③生年月日
- ④E-mailアドレス
- ⑤専門分野

を明記の上、以下のアドレスまで
お気軽に申し込み下さい。

Japanywp@gmail.com

■ Webサイトから(右図参照→)

Japan-YWP Webサイト

(<http://www.japan-ywp.site/Top.html>)の
入会フォームからも入会手続きが可能です。
トップページの「Japan-YWPへの入会は
こちら」から入会フォームへお進みください。



編集後記

Japan-YWP運営委員が一新されてから、初めてのニュースレターの発行となりました。2018-2019年度の第5期新体制では運営委員の平均年齢も下がりましたが、今後もJapan-YWPを継続・発展させ、さらに若い参加者や学生会員が活発に参加できる場を提供していきたいと思っております。我々広報委員もJapan-YWPの活動を皆様に積極的に報告し、より広く活動内容を伝えて行きたいと思っています。最後になりますが、本ニュースレターの作成に当たりご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

(Japan-YWP広報委員)

Japan National Young Water Professionals Newsletter Vol. 16

発行: 2018年5月24日

発行者: Japan National Young Water Professionals (代表: 浅田 安廣)

ホームページ: <http://www.japan-ywp.site/Top.html>